

議会だより

あやがわ



大規模災害を想定した
2017年度県防災訓練
(綾川町総合運動公園)



綾川町議会ホームページ

2017
No. **46**
平成29年10月20日

定例会	2~3P
代表監査委員の意見	4P
委員会報告	5~7P
研修報告	8~9P
9議員の一般質問	10~18P
議会モニター会議	19P
第11回あやがわサマーフェスティバル	20P

可決

香川県広域水道企業団設置

P6に関連記事

9月定例会を9月8日から14日までを会期として開催した。

初日には町長による議案7件、諮問1件、報告3件の提案理由の説明後、長尾芳則代表監査委員より平成28年度決算監査報告があった。

また、一般質問に9議員が登壇し、執行部の考えを質した。

提案された議案は、関係常任委員会及び特別委員会に付託し、散会した。

14日に本会議を再開し、各常任委員会での審議内容についての報告を行い、原案どおり可決し閉会した。

「平成28年度一般、特別、公営企業会計の決算認定」は、12月までの継続審査とし、決算審査特別委員会に付託した。今定例会の傍聴者は、延べ9名であった。

工事請負変更契約の締結

●滝宮小学校調理場ドライ化改修工事

契約金額（消費税込）

（変更後） 8359万2千円

（変更前） 7992万円

契約者

富士建設(株)

代表取締役 眞鍋有紀子

工期

平成29年6月16日

～平成29年10月31日

平成29年度補正予算

◎一般会計

2315万円を増額し、総額91億4315万円とした。

●主な増額補正

保育所管理運営費 158万円

母子保健事業費 251万円

保健事業費 115万円

農業振興施設整備補助金 829万円

道の駅滝宮施設管理事業費 400万円

教育振興費 150万円

農地災害復旧費 409万円

◎国民健康保険特別会計

688万円を増額し、総額36億9355万円とした。

◎水道事業会計

高濃度PCB処分、水質検査箇所追加に伴い、300万円を増額し、水道事業費用を6億4139万円とした。

人権擁護委員の推薦同意

任期満了（平成30年1月1日）に伴い、委員の推薦に同意した。

岡内 利文（64歳）再任
綾川町畑田731番地18



山本 正昭（66歳）再任
綾川町北263番地1



四宮 玲子（63歳）再任
綾川町山田下3083番地2



田中 正博（66歳）新任
綾川町陶3585番地1



決算審査特別委員会設置

12月議会で報告できるよう、平成28年度一般会計・特別会計・公営企業会計の決算内容を審査する。

【決算審査特別委員】

委員長 福家 功
副委員長 三好 重徳
他 議長及び議会選出
監査委員を除く12名

9月定例会

■全会一致の議案

議案の内容	議決結果
綾川町職員の育児休業等に関する条例の一部改正	原案可決
工事請負変更契約の締結	〃
平成 29 年度綾川町一般会計補正予算	〃
平成 29 年度国民健康保険特別会計補正予算	〃
平成 29 年度綾川町水道事業会計補正予算	〃
決算審査特別委員会の設置	〃
綾川町人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	〃
平成28年度綾川町健全化判断比率及び資金不足比率	〃
平成28事業年度綾川町土地開発公社決算	〃
平成29事業年度綾川町土地開発公社決算	〃

■賛否が分かれた議案

※○賛成、●反対

※－議長（採決には加わらない）

議案の内容	議員名	大野直樹	三好重徳	岡田芳正	井上博道	川崎泰史	福家功	福家利智子	横井薫	田辺健次	鈴木義明	河野雅廣	碓石眞己	野中邦夫	石井和義	安藤利光	宮本勝利	
香川県広域水道企業団の設置		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	●	○	原案可決 (賛14反1)

追跡 あの質問、あれからどなんなっとな？

問 地元住民の要望として、^{さるれお}讀留靈王^お遺跡の見学者の安全保護、防災・自然災害時の対応、地域及び農業振興の推進を。
(平成17年9月定例会)

答 数多くの文化財や埋蔵遺跡や窯跡があり、観光マップの中でも散歩コースとして紹介している。地元関係者の協力をお願いしたい。

↓
その後



◀崩落防止工事が終了した法面（讀留靈王碑周辺）

※ヤマトタケルノミコトの子。讀岐の海で船や人を襲っていた巨大な悪魚を退治し、その功績により、讀岐の国を治めた。

問 冬の訪れとともに、インフルエンザの流行が予想される。
子育て支援の一環として、医療費本人負担の軽減が必要である。65歳以上の高齢者と同様に、子どものインフルエンザ予防接種に公費助成を。
(平成27年12月定例会)



答 公費助成は、継続的な経費負担となるので、今後検討する。

↓
その後

平成28年度より、中学3年生まで、1回につき1500円を助成している。

行政コスト意識を高め、 将来を見据えた責任ある行政の展開を

代表監査委員 長尾 芳則



綾川町一般会計及び特別会計並びに企業会計の決算審査を実施し、慎重に審査した結果、いずれも正確に経理されており適正であると認められました。

平成28年度一般会計及び特別会計の決算額は、歳入額で6億6439万円（3.5%）、歳出額で6億6625万円（3.8%）の減と、収支ともに前年度を若干下回った決算額となりましたが、実質収支額は、前年度に対し696万円増の9億819万円の黒字決算となりました。

財政指数

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき審査を行った結果、「実質赤字比率」及び「連結赤字比率」は該当はなく、共に良好と認められました。

また、「実質公債費比率」はマイナス0.7%と、国が示す早期健全化基準を大きく下回り、極めて良好です。更に、「将来負担比率」も、新たな起債の発行を制限し基金の造成を図ってきたことから、良好な状況を示しており、是正改善について特に指摘すべき事項はありませんでした。

行政監査

平成28年度に実施された工事の中から、小規模ため池防災対策特別事業「大谷池」、綾上なかよし学級建設工事、陶小学校調理場ドライ化工事、他5箇所について現地での監査を行い、いずれも適正に施工されている事を確認いたしました。

公営企業会計

陶病院においては、1日平均入院患者数は50・5人で、

1日平均3.1人（6.2%）の増加と、緩やかに改善の傾向を示していますが、年間外来患者数は、5万8172人で、前年度に比べ約4千人（6.5%）減少し、外来収入も4140万円程の減収となりました。

3083万円の純利益を得ての決算とはなりましたが、引き続き適正な医師の確保と医療スタッフの充実に努めるようお願いいたします。

次に、水道事業については、有収率が86・9%と前年を0・59%上回っており、老朽管布設替え等の効果によるものと考えます。平成30年4月設立予定の「香川県広域水道事業企業団」移行後も、計画的な老朽管等の更新を図り、安全な水を安定して給水いただくよう一層の努力をお願いいたします。

次に、介護老人保健施設では、ユニット型個室10床が開かれ、延べ利用者数は1日平均6.3人（10・5%）程の増加となりました。慢性的な介護スタッフ不足の中で努力の跡が見られますが、結果的には5286万円の純損失での決算となりました。引き続き、

介護職員等の確保に努め、在宅生活支援等の多様なニーズに応えるべく一層の努力をお願いいたします。

決算監査での所感

今は、健全な財政状況が維持されていますが、合併11年目を迎え、今後は普通交付税が段階的に縮減される中で、社会インフラに対する整備・維持費等の負担増、更には、第2次総合振興計画に基づく様々な施策や行政サービス維持・継続していく事は決して容易なことではありません。今まで以上に行政コスト意識を高め、常に将来を見据え、より安定的な財政基盤の確立と責任ある行政の展開を図られるようお願いいたします。

総務委員会

綾川町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

地方公務員の育児休業に關する法律が改正されたことに伴い、育児休業等の再度の期間延長ができる場合の特別の事情について本条例の一部を改正する必要がある。

平成28年度綾川町財政

平成28年度綾川町健全化判断比率、資金不足比率、実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率、及び資金不足比率については該当なしで、健全に運営されている。

問 基金残高の割合が高いことを理由に、交付金等がカットされることはないのか。

答 「将来的に必要な基金」であることを国に対して十分説明していく。

平成28・29事業年度綾川町土地開発公社決算

平成28年に公社が解散したことに伴い、各種手続きを行った。

平成29事業年度決算は、残余財産の処分により清算人会において決算が承認された。出資金500万円、及び準備金3千151万3452円を全額綾川町一般会計に入金し、清算終了の手続きが終了した。

問 田万土捨て場の処分後、他の用途の転用・転売の心配はないのか。

答 10年間の買戻し特約を付けており、目的外使用や転売防止に努める。

ゴールドイルカ（高齢者割引）事業

10月1日よりゴールドイルカを導入し、ことでん運賃半額事業が始まる。70歳以上の方が購入することができ、利用は本人に限る。問合せ先

役場総務課

☎(876) 1906

ことでん管理本部

☎(863) 7766

その他

問 防災の観点から、町内施設及び学校におけるWi-Fi環境はどうなっているのか。

答 本年度、各公民館に設

置予定。学校は設置を検討中である。特に体育館等は避難所になっているので、総務課と相談していく。

問 高松空港の民営化は喜ばしいが、騒音等への対応は。また、国や県から通知はあるのか。

答 騒音問題が起こった場合や航路を外れて運行した場合、管理者に申し出て対応する。

問 教職員の自宅での、学校のネットワーク利用については。

答 9月に、教師が自宅のパソコンから学校のパソコンにアクセスできるシステムを導入する。帰宅後も、学校と同様の作業ができるようになる。高松市、丸亀市に続いての導入である。

問 綾上中学校では、生徒数の減少により、部活動が成り立たない等の状況が生じているが、どのように考えているのか。

答 関係者の意見を聞いて、方向性を見出し出て行きたい。

問 学校施設開放事業の有料化について、体育館の使用料の検討は進んでいるのか。

答 有料化については検討委員会でも一定の理解を得た。

問 ふれあい運動公園のフットサル場の整備検討は進んでいるのか。

答 町内設備の競合等を勘案した上、コートの改修や他の競技用施設への転換等、利用者増が見込めるよう検討する。



B & G綾上海洋センター

厚生委員会

平成29年度綾川町一般会計補正予算

問 今まで公認陸上競技場第3種を必要とする大会の開催もなく、天然芝にこだわる理由がないのでは。人工芝への転換期に入っており、利用率の向上を最優先するべきでは。

答 今後、人工芝への転換、第3種の必要性について検討する。

歳出

●施設型給付費の国の基準改正に伴う、子ども子育て支援システム改修業務。

●母子保健事業費は、養育医療費の対象者が生活保護者であったことによる養育医療費、及び審査業務委託料の増額補正。

●保健事業費は、制度改正等に伴う健康管理システム改修業務の増額補正。

歳入

●養育医療費の2分の1負担として、衛生費国庫負担金の養育医療給付費負担金、及び、4分の1負担として、衛生費県負担金の養育医療給付費負担金の増額補正。

●早期支援事業に係る教育

支援体制整備費補助金、及び、子ども子育て支援システム改修費補助金の増額補正。

問 養育医療費が1人に25万円も要ったようだ、要因は。

答 生活保護者だったため、全額が養育医療費の対象となり、1人に対し約262万6千円必要であった。医療については、医師が特に入院養育を必要と認めたものである。

平成29年度国民健康保険特別会計補正予算

歳出

●一般被保険者療養給付費は、財源振替。

●退職者医療の療養給付費交付金は、諸支出金で退職者医療交付金等還付金の増額補正。

歳入

●療養給付費交付金の減額補正

●前期高齢者交付金の増額補正。

西分保育所

西分保育所の施設利用について、地元利用の募集に応募者がなく、無償での一般公募を進めていく。

問 利用者選定に係る、町検討委員会の構成は。

答 副町長を委員長とし、関係各課長10名及び地元選出委員2名で、合計13名の構成である。

意見 一般公募による利用者がいない場合は、町としての活用を再検討してはどうか。

町立幼稚園

問 町立幼稚園規則において、「満3歳以下」の記載があり、0歳での入園が可能であるように読み取れるがどうなのか。

答 町規則は、合併時に制定されたもので、3歳未満は入園できないので、規則については、改正していく。要望 保護者ニーズとして、満3歳児の年度途中入園について、検討して欲しい。

認定こども園・保育所

問 保育士の事務的業務の負担軽減において、パソコン増設が必要でないか。

答 パソコン運用については、工夫しながら運用を行っており、増設については、財政部局と検討、調整をしていく。



増設が望まれるパソコン

綾川斎苑やすらぎの丘の指定管理者

問 利用者アンケートの状況は、どのようになっているか。

答 おおむね良好との意見をいただいている。

男女共同参画基本計画

問 国の男女共同参画基本計画では、審議会等に占める女

性委員を3割以上とする目標を掲げているが、町では、どのような状況か。

答 目標設定に届いていないが、プラン内容の検証及び、整合性を取りながら進める。

高松市最終処分場

問 陶地区の高松市最終処分場の周辺自治会の要望は、把握しているのか。

答 地元関係者と町職員が同席している。引き続き、地元要望を高松市に要望していく。

地域包括支援センター

問 綾川町でも高齢化が進む中、専門職を計画的に採用し、正規職員の人材確保を願いたい。

答 人事担当課とも連携し、専門職の人材確保を要望していく。

現地踏査

●昭和なかよし学級改修工事

建設経済委員会

現地踏査等

新設農道要望箇所

①脇農道（羽床下地区）

現在、田渡して耕作をしている農地部分を、路肩コンクリートで地上げして農道とする予定。幅員、事業費、受益戸数の採択条件を満たしている。本年度、設計及び工事発注並びに分筆等を地元で実施し、工事竣工後に補助金交付及び町による用地買収を行う予定。
②赤坂上池1号農道、2号農道（陶地区）
県営ため池耐震化整備事業で本年度秋の工事に伴い、堤体内への盛土運搬のため池の裏側の腰ブロック施工の2箇所仮設道路が必要となることから、本事業の仮設道路を利用し、新設農道として申請する。

香川県広域水道企業団の設置

水道事業及び工業用水道事業の経営に関する事務等を共同処理するため、地方自治法第284条第2項の規定により、香川県広域水道企業団規約を定め、香川県広域水道企業団を設置する。

9月の各市町及び県議会において企業団設置について議決し、11月を目処に総務大臣に対して事業認可申請し、許可後に企業団設置を行う。平成30年3月に厚生労働大臣による水道事業創設認可を得て、4月から事業開始となる。

問 企業団となった後の水道料金はどのようにするのか。

答 30年4月に企業団となっても、10年間は各市町の区分経理となる。本町の水道料金についても、直ちに改定する予定はない。試算であるが、10年後に統一料金となった場合、本町の水道料金は下がる見込みである。

綾川町お試し住宅実施要綱

町外からの移住を検討している者に対して一定期間、生活体験の場を提供することにより、移住促進を図るため、本年4月1日に要綱を定めた。

問 事業者優先向けである4階の1室を、お試し用居室とした理由は何か。また、入居の見込みはあるのか。

答 1〜3階は高齢者、若年層世帯を優先する居室であることから、4階の1室とした。入居見込みについては、

当該住宅への入居に限らず、町内一円での移住を検討している人に対して生活体験の場を提供するものであり、需要はあると考える。

その他

問 畑田駅前地先の八束池は、ため池を廃止し、埋め立てすると聞いているが、進捗状況はどうなっているのか。

答 当該地は畑田駅前の周辺整備に利活用できる敷地であると考えており、埋立てるためには旧国道からの仮設道の設置や埋立て残土の確保が必要である。今後、埋立て後の土地利用についての検討も行った上で対応したい。

平成29年度綾川町一般会計補正予算

歳出

道の駅滝宮施設管理事業費は、うどん会館の再生を図るための業務委託料の補正。農地災害復旧費は、7月の梅雨前線豪雨により被災した農地1件の復旧費の補正。

歳入

災害復旧費分担金は、農地災害復旧負担金の補正。農林水産業費県補助金は、

農業振興費補助金の補正。災害復旧事業費県補助金は、農林水産施設災害復旧費補助金の補正。

問 うどん会館再生計画委託業務とはどのような内容か。

答 産直施設を拡大し、併せてショップ及びレストランについても新しく建て替えることも考えたい。

要望

うどん店のテナントへの委託は良いと思うが、地形的に産直施設を拡大するのは限界があると思う。前回の設計は実行性に欠けていたように思われる。実現可能な設計を十分に検討してほしい。

答 JAから、陶と滝宮の産直を統合し、滝宮を拡大したいという話があった。町としては、うどん店の配置や駐車場の問題等、総合的な計画を検討する為の業務委託をする。年内には方向性を出したい。

平成29年度綾川町水道事業会計補正予算

高濃度PCBを含むコンデンサーの処分及び浄水場出口の水質検査箇所追加による委託料の増額補正。

町道向原田所富川線における配水管の布設替に伴う工事請負費の増額補正。

問 町道向原田所富川線配水管布設替工事において、町道

掘削にあたって建設課と協議しているのか。

答 土地改良事業共同施行者と建設課と十分に協議し、工事後に町道を利用する住民に不都合が生じないように努める。

その他

問 町の活性化、雇用促進を図るためには、うどん企業に来てもらいたいのが、そのための企業誘致条例の改正についてどのような検討がなされているのか。

答 近隣の市では、市内の新規雇用者についても補助金を交付するようになっているので、本町も新規雇用の部分を十分検討していきたい。

問 先に一般質問し、概略設計を行なった昭和地区の新道（南原交差点から田池の32号線バイパス）に関し、その後の進捗状況はどのようになっているのか。

答 平成25年度に一般質問を受け、平成26年度に概略設計を行った経緯はあるが、現在も検討段階であると認識している。



うどん発祥地にふさわしい再生を待つ「道の駅滝宮うどん会館」

厚生委員会

7/19~21

西伯^{さいはく}病院の経営改善計画

鳥取県南部町

鳥取県南部町の西伯病院は、自治体病院として地域医療の充実に努めている。規模は、滝宮病院と同規模である。

地域の病院としての役割

高度医療は大学病院等に委ね、その後の回復期の医療提供、慢性期医療の受け入れを行い、地域で安心して継続した医療が受けられるよう支援している。

現在常勤の医師は15名であるが、年々減少しており、在職医師の勤務環境は厳しい。しかし、非常勤医師の常勤への勤務シフトの変更や、鳥取大学と連携した医師養成や研修により、継続した医師確保への努力を続けている。

新改革プランの策定

平成29年3月に新改革プランを策定し、住み慣れた地域で将来にわたって安心して生活できるように、良質な医療サービスの提供と安定した経営の維持を目指している。

コミュニティホーム「西町の郷」

鳥取県南部町

コミュニティホームモデル事業は、自宅で暮らしにくくなった方がこれまでと同じ生活環境の中で暮らしていただけるよう、地域支援していく全国初の取り組みである。

既存の民家を対象に地域住民が見守りをし、食事提供や生活支援サービスも行う。介護福祉士や管理栄養士等のサポート員が支援し、ボランティアによる送迎も行う。利用者負担は安価にしており、一日平均7〜8名の利用がある。



サポート員がその運営を支援するコミュニティホーム西町の郷

効果とメリット

利用者の数値判断や会話力が上昇し、家族から感謝の声も聞かれた。役割を担うことで、サポート員の生活のリズムも整った。

園児送迎時の混雑対応

鳥根県松江市 城西^{せいさい}保育園

約250名の園児を受け入れている城西^{せいさい}保育園では、混雑ピークである朝の通園時には、保護者の車の流れを一方向と取り決めている。

また、駐車場は規模の小さいものを4箇所に拡散する形で確保している。0歳児、1歳児は園に近い駐車場を利用する等、お互いルールを決めて譲り合って利用している。



駐車場を工夫し確保した城西保育所

地域包括医療の取り組みと医師確保

鳥根県飯南町 飯南^{いひなん}病院

人口約五千人の飯南町では、飯南病院を含め町内4つの医療機関を常勤医師5名、歯科医師1名で運営している。

医師の確保と職場環境

- 鳥根県、鳥根大学医学部等との連携、支援
- 研修医、学生等の受け入れ
- 飯南町での就職を条件に奨学金返済を免除
- U・Iターンして看護師として勤務する方に定住促進住宅の家賃を2年間免除
- 勤めやすい環境づくりのため、病院長による全職員対象のヒアリングを実施

飯南病院の役割(角田病院院長談)

飯南町は、病院や福祉施設等で400人働いている医療の町である。課題は、医療従事者の確保。疾病予防、介護等に精通している等、総合医でなければならぬが、一人の医師では限界がある。大切なことは、患者を診ようとする意思があるかどうかである。

医師の10か条には、何でも診る、気軽に診る、誰でも診る、いつでも診る、どこでも診る、しっかりと診る、皆で診る、無理しない等とある。病院の使命は、24時間365日、2次救急を守ることである。

出生率2・81と全国トップに並び

岡山県奈義町

る、いつでも診る、どこでも診る、しっかりと診る、皆で診る、無理しない等とある。病院の使命は、24時間365日、2次救急を守ることである。

職員が一丸となり、地域とのコミュニケーションを大切にすることが、現在の病床利用率70%の確保と経常収支比率100%以上に繋がっている。病院の雰囲気も良く、人事についても役場は協力的で、風通しの良い病院が一層利用される。

人口6千人余の自然に恵まれた奈義町は、人口を維持するために、定住促進のための若者定住施策、就労の場の確保等の人口減少対策、少子高齢化対策に取り組んでいる。また、高校生までの医療費無料化や出生から大学卒業まで経済的支援を行う等、23項目の子育て支援策が子育て世代に安心感を与え、町内外にも波及している。

そして平成26年度には、合計特殊出生率2・81と、何と全国でもトップクラスの快挙を達成し、現在の人口数を今後

も維持していく方向を打ち出して
している。
これからの綾川町にとって
大いに参考になった。

建設経済委員会

7/11~13

「スマートウェルネスみつけ」

新潟県見附市

住みたい 行きたい 帰りたい
やさしい絆のまち みつけ
スマートウェルネスみつけ

見附市は、新潟県の真ん中
に位置するまちである。

少子高齢化・人口減少社会
の到来を迎え、健幸をこれか
らのまちづくりの基本に据えた
政策を連携しながら実行し、
新しい都市モデル「Smart We
lness City（＝健幸都市、以
下SWC）」を目指すため、
「いきいき健康づくり」の4本
柱（食生活、運動、生きがい、
健診）に加え、まちづくり全
体の要素として
①健康になれるまち（道路、
公園、景観、交通）
②地域が元氣（経済活動、産
業育成、交流）

③環境にやさしいまち（ごみの
減量化、新・省エネルギー）
④健幸を理解し行動（教育、
啓発）

を定め、「住んでいるだけで健
やかに幸せに暮らせるまち」SW
C施策」を推進。

7つのポイント

- ① 社会参加（外出）できる場
づくり
- ② 中心市街地を中核とした賑
わいづくり
- ③ 歩きたくなる快適な歩行空
間の整備
- ④ 特徴的な取組み 地域コミ
ニユティの構築と協働のまちづ
くり
- ⑤ 過度な車依存の脱却を可能
とする公共交通の再整備
- ⑥ まちをゾーンニング
- ⑦ SWC推進のカギは人材

見附市は、既存の都市基盤
の有効利用や再活用に加えて
公的施設などのインフラ整備
を重点的に行ないその機能を
集積し、周辺部との調和を図
りながら地域拠点としての新
たな個性や魅力を磨く施策を
展開している。

遊休農地、耕作放棄地対策
新潟県佐渡市

農家所得を確保するためのブラ
ンド化、産地化、販売経路の多
様化、営農型発電設備の導入

佐渡市は、トキや金銀山に
代表される世界的3資産を有
する他に類を見ない「歴史と
文化が薫り 自然と人が共生
できる美しい島」である。

農業産出額は、約91億円で
あり、その構成比は米70%、
果樹15%、畜産6%、野菜5
%、その他4%。
全耕地面積1万300haに対す
る認定農業者（個人1135
人・年齢制限なし、37法人）
への農地集積面積は5862
haであり、集積率は56・9%。
耕作放棄地面積は1272ha、
直近2カ年では31haの解消を
行った。

耕作放棄地、遊休農地の解
消策については、農業委員に
よる年2回の重点パトロール
を実施し、所有者が不明な遊
休農地については、農地法第
32条による「農地所有者等
を確知できない旨」の公示を行
い、一連の手続きを経て、農

用地の利用権設定が可能な状
態に。

●米のブランド化

農薬や化学肥料の使用を5
割以上減らした「人と環境に
やさしい」農法で栽培。

●民間運営

企業60社で「チーム佐渡島」
を設立し、佐渡の農林水産物
の物流・在庫管理・販売の効
率化を図り活性化。

●営農型発電設備
の下部における営農

ミヨウガ1a当り
出荷品で25kg、販
売高2万5千円程
度。

●新規就農者

「新規就農里親
制度」を設けている。
「里親農家」として
登録（50名登録）
し、就農希望者との
マッチングを行う。

●助成事業

国の制度である
「緊急耕作放棄地再
生利用緊急対策交
付金」を活用し、
平成28年度におい
て0・72ha（再生

作業）、平成29年度には0・
62haの解消を計画。

佐渡市において、特に注目
するのは農地の集積面積が5
862ha、集積率が56・9%
であり（香川県26・5%、綾
川町24・9%で2倍以上）、
基盤整備率が国仲平野を中心
に63%であり、発展的な農業
と観光のまちである。
大変勉強になった。



くになか
基盤整備された国仲平野



教員の負担軽減は



福家利智子 議員

教員の負担軽減にどう取り組むのが

ゆとりを持って勤務できる環境づくり

問

教員の長時間労働が問題になっている。過重な勤務のあまり、心身ともに体調を崩す教員も少なくないと言われ、残業の理由は授業準備で次に部活指導となっている。

部活動の意義や重要性を認め、負担軽減という観点から、地域の専門的な技術を有する方を運動部活動支援員として採用している。教員の負担軽減を図るため

答

に、これからの取り組みは。綾川町教育委員会では、休養日を遵守するように働きかけている。

外部指導者は土日を中心に活動し、技術指導の面から、教員の負担を軽減しているものと考えている。これからは、本校と連携を取っていく。授業準備での軽減については、本年9月末より、教員の様々な事情に対応できるように、自宅のパソコンからでも

学校システムに接続ができる教育用自宅接続システムを運用する予定にしている。

今後とも、町内小中学校教員らの勤務実態調査を実施して、現状把握、分析に努めたい。そして、全ての教員が子どもたちとしっかり向き合えるよう、ゆとりを持って勤務できる環境づくりに取り組み、教員の負担軽減を図っていきたい。

今後の公共施設のあり方は

住民目線に立った幅広い議論を進める

問

公共施設については、今後、巨額の更新費用や修繕費用が集中することが予想される。町が保有する公共施設の状況を総合的に把握し、計画的な維持管理や長寿平準化を図ること、財政負担の平準化や、安心・安全で持続的な施設サービスの提供を目

指す仕組みである「公共施設マネジメント」を導入して、今後の公共施設をどのように実行していくのか。

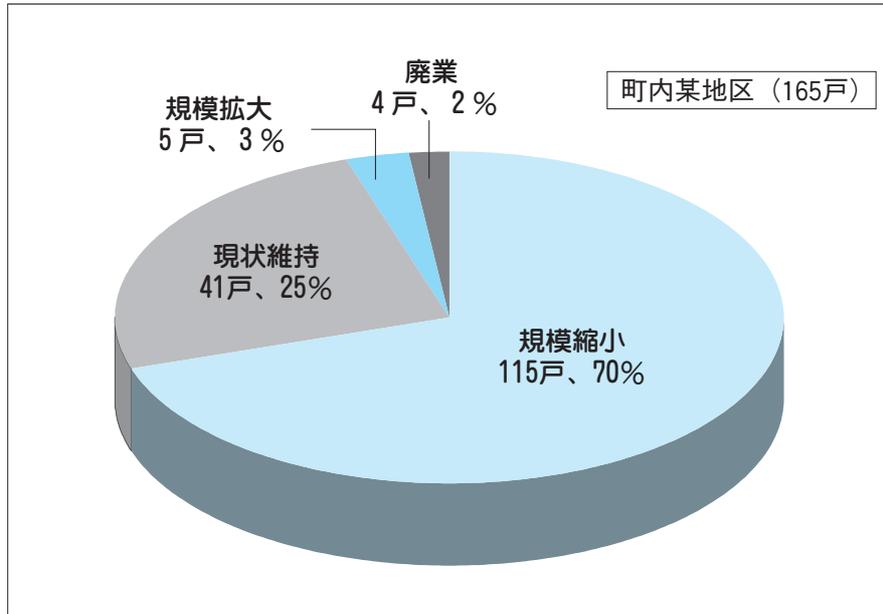
答

施設毎の個別計画を平成32年度頃までを目標に策定し、今後、公共施設のあり方について住民目線に立った幅広い議論を進めながら、

公共施設に対する必要な投資について検討する。今後想定される厳しい財政運営の中で財源確保のため、重点化や優先順位をつけて、将来の公共施設等の需要に対応した施設機能の維持、負担軽減を図るなど、必要な措置を実行していく。



三好重徳議員



農業経営に関する意向調査

どう守る？ 綾川町の農地・農業

基盤整備を進め集積化を図る

農地、農業についての現状

問 本町における農地の状況は。

答 農地面積は2348ha（平成29年3月末現在）。その中で荒廃農地は257haの11%。また管理しているが、作付けしていない土地がどれくらいあるのか把握はできていない。今後、各種資料から推定していきたい。

問 勧告遊休農地の固定資産税課税強化について、本町での対応は。

答 今年度、対象になっている農地はない。今後の対応は決まっていない。

問 本町における農地所有者の農業経営に関する意向調査は。

答 町全体の調査は実施していない。しかし町内某地区(165戸)を対象に意向調査したところ、規模拡大は3

%、現状維持は25%、規模縮小は70%、廃業は2%であった。

農業振興、農業支援策

問 今後の農業振興、農業支援策についてどう考えているのか。

答 現在の振興策を継続しながらも費用対効果を検討し、状況に合った支援策を考える。また集落営農を推進し、各種補助事業の活用によりコストの削減を図り、持続可能な農業を目指す。

問 農業経営高校と提携し、実践的農業を学んでもらうための体制作りを検討しているかどうか。

答 他団体で「農業インターン制度」を行っている。町としては、認定農業者への希望があれば斡旋はするが、それ以上のことは考えていない。

その他

問 農地法第3条における下限積要件(40a)について、現在の下限積要件は妥当であると考えているのか。

答 区域によって緩和する考えはないのか。空き家対策の一環として、農地付き空き家について緩和する考えはないのか。遊休農地等について一定条件下、緩和する考えはないのか。

問 農地付き空き家については今後研究する。

答 農地法第3条における下限積要件(40a)について、現在の下限積要件は妥当であると考えているのか。

問 農地法第3条における下限積要件(40a)について、現在の下限積要件は妥当であると考えているのか。

答 今後、基盤整備を進め、農業の担い手である「認定農業者」や「営農集団」への集積を図る。



井上博道議員



大雨の度に危険な白髪淵しらがふちと町道浦山宮武線

異常気象多発時代における町防災の在り方は

県の新情報の町防災マップへの反映等、安全に努める

問

今年7月の九州北部豪雨では甚大な被害があり、多数の犠牲者が出た。本町にも、同クラスの降雨がある可能性は否定できない。町防災マップの想定降雨の見直し等、異常気象多発時代における町防災の在り方についての本町の考えを問う。

答

香川県が今年度に浸水想定区域の見直しを開始するので、新情報が入り次第、本町防災マップを更新する。土砂災害警戒区域についても、香川県は県下全域で調査を継続しており、変更があれば町防災マップに反映する。小野地区の白髪淵については、流木被害拡大がありえる

が、現状では量的な想定をしかねる。今後、国や県からの量的な情報提供があれば、地域住民に周知する。

長柄ダムは、台風接近時等は早めに放流して、綾川が急激に増水しないよう香川県に常々依頼している。災害時に町民がより安全に避難できるよう、様々な方法を検討する。

自殺者減少に向けた町づくりは

自殺総合対策の基本理念の下、施策を推進する

問

広報あやがわ131号によれば、香川県では年間170人が自殺しており、交通事故死者数の約3倍である。綾川町の自殺死亡率は香川県や全国平均を上回っている。自殺者減少に向けた町づくりについての本町の考えを問う。

答

「誰も自殺に追い込まれる事のない社会の実現を目指す」という自殺総合対策の基本理念のもと、施策を推進していく必要があると考える。各種啓発活動と事業を実施しているが、今年度は更に、民生委員・児童委員を対象に自殺予防の講習会を実施

する予定。

自殺対策基本法の改正による、自殺対策大綱と県計画に基づき、地域の実情を勘案して、町自殺対策計画を平成30年度に策定する。専門的窓口や専門会議等については、今後の研究課題とする。



増便で騒音がさらに心配（高松空港）



安藤利光議員

「高松空港民営化」 便数増加による騒音影響は

騒音関係は町も十分協議し、進める

問

国土交通省は、平成30年4月からの高松空港民営化に向けた手続きで、優先交渉権者に選定した三菱地所を代表とするグループの提案内容を公表した。

15年後の旅客数は現在の1.7倍の目標を設け、便数は国内3路線を6路線に、国際4路線を7路線に、合計13路線に拡大する。国内は1日あたり23便、国際は1週あたり51便を運行予定で、国内線は1.4倍、国際線は2.6倍の便数に増える。問題は、騒音が今と比べて相当増えてくることである。その影響を示して欲しい。また、航空機の運用時間も、当初、夜の睡眠時間を保障するとしていたが、朝7時から夜10時まで飛んでいる。旅客数が増えることは良いが、影響を住民に知らすべきでは。反対運動が起きてからでは遅いのではないか。

答

町は、国と事業者には、空港建設当時からの反対運動や運行時間の延長、騒音等心配する声があったことを伝え、住民の心情を十分配慮する旨を民営化検討時から伝えてきた。

増便で騒音区域が広がることについて国に確認すると、現在は、航空機騒音防止法に基づく特定飛行場に指定されていないため騒音区域図が作成されておらず、既存の機材、運用時間内においては、増便されることで騒音区域が広がることは考えていない。増便等の際には、運営会社が影響調査を毎年実施する。運用時間は、これ以上の延長は難しいとのことであった。

問

騒音影響区域図を示し、理解を求めるべきでは。増便されるのに何も問題がないというのでは、筋が通らないが。

答

国と綾川町の経緯、反対闘争もあったこと等を考慮し、今後も十分に協議し、町は問題がないように進めたい。





まむし
毒蛇に噛まれたら、救急車の要請を



田辺 健次 議員

まむし
毒蛇に噛まれたときは

応急処置し、119番へ救急車の要請を

問

兵庫県伊丹市で7月、小学5年生男子が、近くの公園において、毒蛇に噛まれた事故が発生した。血清を打つことにより回復した。

綾川町でも、まむしは4月から10月頃が一番多く発生する。しかし、滝宮総合病院では平日夜間、日曜、祭日は医師の関係で対応できない。高松西消防署での救急車出動実態は、近年3年では7件出動しており、救急隊員によると、「毒蛇に噛まれたら自分で病院へ行かずに、すぐ119番に連絡を。」とのことである。

今後の対策として、
① 毒蛇に噛まれたら応急手当てをし、119番へ電話をする事を住民に周知。
② 学校教育の中で子ども達に実態を教えておく。

③ 農村公園など、危ない場所には立て看板の設置。

④ 綾川町内で平日夜間、日曜、祭日に血清を打てる医療機関を設ける。

陶病院が綾上診療所に対応できないか。

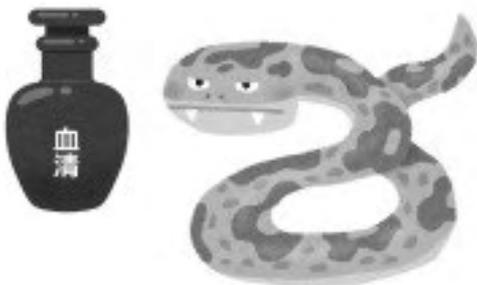
答

今後の対策として1点目、マムシに咬まれた場合は119番へ救急車を要請するよう、今後広報紙等にて住民への周知を図る。

2点目、学校現場でも、野外活動の安全指導でマムシでなくても蛇を見たら、「近づかない」、「触らない」、「刺激しない」の指導をしている。

3点目、農村公園などの、住民等が利用する施設は、危険と思われる箇所に「マムシ注意」の看板の設置を検討す

る。
4点目、医師の専門性が問われるもので、綾上診療所は入院設備もなく、陶病院の棟も全身管理はできない。





町職員の幅広い研修を



宮本勝利議員

町職員の研修は

研修規程の見直しを含め、充実を図っていききたい

問

現在、町職員の研修については多岐にわたって実施されている。

しかし、大半が「法例の説明や解説」、「各種団体の集会への動員」等々であり、私に言わせれば全くの官制研修である。

こうした研修も必要不可欠であるが、もっと自由な立場で視察研修することも肝要だと考える。

少子高齢社会になった今日、多様な視察研修を経て育んだ素養、培った広い視野を持った職員が求められている。

行政は、地域住民が現状に満足感を持った生活をし、さらに将来に夢や希望を描ける生活を構築できる手助けをすべきである。

本町職員がそうした期待に

答

職員の研修については、綾川町職員研修規程に基づいて計画的に実施している。

しかし、現在の研修規程では、特別研修として定めているものであり、貴重なご提言をいただいたので、今後、研修規程の内容の見直しを含め、職員の研修制度の充実を図っていききたい。





岡田芳正議員



教育の町 綾川町

町独自による高等学校等 就学支援支給事業に取り組んでは

支援事業制度は考えてない

問

県内地域の自治会によつては、出生率の低下と若者の地域外流出に悩まされている。いずれは、綾川町も活力を失い、各自治会組織が機能を維持できなくなりかねない。

魅力ある子育て支援対策の延長に綾川町独自の高等学校等就学支援支給事業に取り組み、対象者として綾川町に住所を有している高校生、専門学校生に年間3万円を3年間支給してはどうか。

高等学校等の進学ともなると、今まで以上に、ごこの家庭においても家計の負担が重く押し掛かってくる。

そこで、高等学校等就学支援の支給事業により、定期代、通学自転車代の一部に充てられ、少してはあるが、家計の負担軽減に繋がり役に立つと

考えられる。

綾川町の将来を背負って立つ若者への人材投資も10年、20年を見越した思い切った施策が重要と思う。

その施策実施により、魅力ある綾川町の教育の町を高め、子育て支援の場を増やすことにより、若者が定住しやすくなると思うが、綾川町としてどのように考えるのか。

答

高等学校等就学支援事業については、国による高等学校等における教育に係る経済的負担の軽減を図ることを目的に、平成26年4月から施行された補助制度である。この制度は、教科書費、教材費、学用品費、通学用品費等を対象に補助する制度であるが、対象者に所得制限があり、全ての家庭を対象とす

るものではない。

町費で全高校生及び専門学校生に年間3万円を3年間支給するようになると、本町では年間約600名が対象者となり、毎年2千万円の財源が必要になる。

このような制度は、一度支給すると長期的な支給を見通して財源を考えることが重要であるので、町としては、全高校生及び専門学校生に年間3万円を3年間支給する支援事業制度は考えていない。

現在は、育英事業で年間24万円を3年間、無利子で貸し付けた者を対象に一定の要件を満たせば返済金の半額免除する制度を定住対策として設けているので、ご理解を願いたい。



保健師による乳児健診



大野直樹議員

ワンストップサービスの子育て支援は

今後検討していく

問 子育て支援コーディネーターや保健師の役割が非常に重要になっている。現在、母子手帳等の手続きは、健康福祉課のえがおで行われているが、今後、母子手帳の発行やその他子育ての相談等、子育て支援課において総合的に行うべきだと考えるが。

答 “顔の見える支援”として、対話の中で信頼関係を築いていくことが大切であると考えます。

今まで以上に保健師との連携を密にし、子育て支援に取り組んでいく。

乳幼児とのふれあい体験学習

問 乳幼児とふれあう機会を持つことで、思春期の生徒と赤ちゃんとの接経験や親準備教育に繋がる。それによって、乳幼児に対する感情は好転し、親になる前の経験不足を補うものであると

も言われている。本町の学校教育でも、乳幼児とのふれあい事業を取り入れる考えはあるのか。

答 本町では、中学校の夏休みの宿題として、幼児との関わりをレポートにして提出したり、ボランティア活動の一環として、乳幼児健診に携わり、親子のふれあいを見て、疑似体験をしている。これらを引き続き実施しながら中学生と乳幼児とのふれあいの場作りに取り組んでいく。

企業誘致はどのよう

新たな制度を検討する

問 企業誘致は、税収の増加、所得や雇用の増加を通じて地域の活性化が進み、地域経済の発展につながるものとして地域の経済の柱となるものになる。

思い切った施策と方針を示し、条例等の変更を行い企業誘致を積極的に進めていた

きたいが、どのように考えているのか。

答 誘致の前段として、農業振興地域整備計画の見直しを行っている。現在の「綾川町企業誘致条例」を十分検討し、新たな制度を検討していく。

問 この条例の変更、また制度の変更等はいつまでに行うのか。

答 他市町に比べ遜色のない制度を今年度中に検討していく。



65cm程度の狭い歩道



ロータリー交差点



川崎 泰史 議員

県道282号線(旧国道32号線)の再開発の現状と方向性は

現状は個別対応で、方向性は他市町の考えを研究したい

問 県道282号線は主要な基幹道路である。しかしながら、古い規格であり、交通安全の観点では危険。歩道を含む基幹道路としての再開発の検討は。

答 県においては、現在の歩道の基準に適合するよう、通学路の危険箇所等について地元の要望を受けて対応しており、本年度も「防災・安全社会資本整備交付金」を活用した滝宮橋橋梁補修工事や小野地区歩道整備に取り組んでいる。

問 各所の整備は、地権者と協議ができた個別箇所という理解でよいか。

答 そうである。

問 現在の対策は、個別の局地対応である。そして、

て、現実に各用地は個別財産であるため、簡単に整備が進むことはないと予測される。県、もしくは町として、安全性確保のための再開発をどのように進めていくのか。個別対応による個人の好意に依存するだけで良いのか。

答 再開発は、未整備区間の大半が家屋の連担する市街地であり、地域住民の理解と協力を前提として、町が県へ要望していくものである。今後の研究課題である。交通安全対策は、交通安全総点検実行委員会を組織し、通学路の安全確保に努めている。

問 個別対応では整備が進まない。町民の安全確保のため、町が県に要望しては、

また、交差点も複雑で危険

な箇所があり、このような箇所の対策、例えばロータリー交差点等も検討しては。

答 県道同士の交差点は、中讃土木事務所も危険箇所として認識しており、その対応については土木事務所と協議したい。
高松琴平線は、他の自治体を通る主要な幹線なので、他市町の考え方も研究したい。

議会モニター 大いに語る座談会

第3回議会モニター会議(7/14)

モニターの皆さんからのご意見等に対する経過報告

●議会の傍聴に工夫を

本会議の傍聴は、これまで通り10分前までに受付けを済ませることが原則であるが、やむを得ない場合は途中入室を認める。

常任委員会は、委員会室が手狭なことから、これまで通り傍聴は議員だけとする。

将来的にはライブ中継やモニター室の設置を念頭に検討を重ねる。

本会議を傍聴して

岡 宏美

本会議の様子をユーチューブ等の動画サイトへアップできないか。



議会傍聴の周知方法について、町の広報無線だけでなく別の方法も取り入れては。

松内広平

議会広報誌

誌に議会の傍聴ルール

等の詳細を

掲載して周知すればより傍聴に来



やすくなると思う。

森 英彰

これまで3定例会、一般質問を傍聴した。

毎回ほぼ同じ議員が行っているが、どうなのか。



山田泰史

中学校の体育館等で本会議を開くことはできないのか。中学生も勉強になり、大勢の傍聴者の中で緊張感あるものになると思う。



議会広報誌・議会ホームページについて

山田泰史

議会広報誌は写真が増え文字も大きくなり見やすくなった。ホームページを現代風リニューアルしてはどうか。

岡 宏美

議会広報誌に掲載されている議会ホームページのアドレスを大きく表示してはどうか。また、QR

コードを入れてはどうか。

その他

山田泰史

子育て支援策の充実も影響してか、転入者が増えているように感じる。今後子育て支援策の充実を望む。

綾上中学校と綾南中学校の統合はどうなのか。綾上中学校は希望する部活動ができない者もいるのではないかと。統合もやむを得ないのではないかと。

岡 宏美

中学校の統合は通学の問題もあり、すぐには難しいと思う。部活動だけでも合同で行える方策等を考えてはどうか。

森 英彰

綾南地区から綾上中学校へ入学を希望する生徒もいたと聞いている。同じ町内で中学校を選べるよう、柔軟な対応はできないのか。

松内広平

町営住宅について、仮に空室が出ても、それを知らなければ、申込みのしようがない。空室状況をリアルタイムに知ら

せる方法を考えては。



第3回議会モニター会議(7月14日)

※座談内容は、紙面の都合上、一部のみ掲載させて頂きました。

7000人の人！人！ 最高に盛り上がる！ ～第11回あやがわサマーフェスティバル～

8月27日、綾川町ふれあい運動公園で、第11回あやがわサマーフェスティバルが来場者7千人のもと、盛大に行われた。

綾川町商工会青年会、アグリネット、商工会女性部、JA女性部、東分同志会等のご協力により開催された。



野菜だいすきフォトコンテスト表彰式、農業経営高等学校の拓心太鼓や白鳥太鼓の演奏等が行われ、大いに盛り上がった。

地元産の米「おいでまい」、柿、ぶどう、いちご、タツタの森宿泊券、町商品券（5万円）等が当たる大抽選会では、当選番号が発表されると大歓声上がる等、盛り上がりは最高潮に達した。



議会モニターを随時募集しています。詳しくは、綾川町議会のホームページをご覧ください。



松本ヨシエさん
(西分地区)

世界・自然の変化の時代になり、ますます現場の声が大事になり、それを生かしたさらに住みやすい綾川町になるよう、精一杯頑張りたいと思います。



南スミ子さん
(畑田地区)

今感じていることは、健康長寿です。町の検診を受けることが大切だと思います。予防しながら、お互いに声を掛け合って、より良いまちづくりを目指し、協力させて頂きます。

新しく、2名の方が、議会モニターに加わりました！

議会モニターからのひとこと

議会広報編集委員会
委員長 安藤 利光
副委員長 三好 重徳
委員 大野 直樹
委員 岡田 芳正
委員 井上 博道
委員 田辺 健次

朝晩めっきり涼しくなってきました。
最近、町民の皆様から「議会の傍聴は行けんけど、議会だよりは見よるで〜」「議会広報見やすくなりましたね」と、声を掛けて頂くことがあります。
議会の審議内容を詳細にお伝えすることは、限られた紙面では十分できないかもしれませんが、少しでも読みやすく情報を発信できるよう、工夫をしてみたいです。
今後とも、ご愛読いただきますよう、お願いいたします。
議会だよりとともに、是非、傍聴にもお越しください。

編集後記